令和８年度　　信楽高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・保護者や地域住民の信頼に応える、開かれた学校づくりを推進する。
・基本的生活習慣の確立を目指し、全職員の協力体制のもとで指導を徹底する。
・基礎学力の養成に重点を置き、きめ細かな工夫ある学習活動を展開する。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	生徒や教職員が明るく、活気や魅力ある学校となるよう努めている。	A		
	学校の課題を明らかにし、教育方針や教育目標が実現できるよう、具体的に取組を進めている。	A		
2　学習指導	学習習慣の確立と、各系列の特徴を活かした、魅力的な授業づくりに努めている。	A		
	生徒が主体的に学習に取り組み、学習意欲を向上させるよう授業改善に取り組んでいる。	B		
3　生徒指導	身だしなみや挨拶などの指導を日常的に行い、基本的な生活習慣の確立に努めている。	A		
	教職員間で連携をとり、生徒指導上の問題解決や指導に努めている。	A		
	いじめの未然防止と早期発見・早期対応に努めている。	A		
4　進路指導	生徒や保護者に的確な進路情報を伝え、きめ細やかな進路指導を実践している。	A		
	教科補習・小論文指導・面接指導の充実に努め、生徒一人ひとりに応じた進路指導を実践している。	A		
5　特別活動等	部活動の活性化を図り、生徒の人間性、社会性の向上に向けて取り組んでいる。	B		
	学校行事や生徒会行事に積極的に取り組んでいる。	A		
6　学校図書館	読書活動や図書の展示、広報活動を通して、生徒や教職員への読書意欲の喚起に努めている。	A		
	授業等で活用しやすいように必要な資料の充実を図り、居心地が良い図書館づくりを行っている。	A		
7　保健・安全指導	生徒の健康や安全に関する自己管理能力を育成する指導を実践している。	A		
	生徒の事故・怪我・病気等への対応を適切に行っている。	A		
	教育相談等を通じて、生徒の心の相談にきめ細かく取り組んでいる。	A		
8　人権教育	生徒がお互いの多様性を尊重しつつ、明るく生き生きと生活できる学校づくりに努めている。	A		
	生命や人権を大切にする指導を実践している。	A		
9　環境教育	整理整頓や清掃を行い、校内の美化に努めている。	B		
	ゴミの分別に全校で取り組み、省資源・リサイクルの意識を高めている。	A		
10　事務・管理	施設や設備の適切な整備・管理により良好な教育環境を維持している。	A		
	適正な予算執行・事務執行により円滑な学校運営が図れている。	A		
11　その他 学校の取組	学校運営協議会を開催し、地域や関係機関からの意見等を学校教育に活かしている。	A		
	教育相談、特別支援教育体制を充実させ、個々の生徒の課題に丁寧に向き合っている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.shigaraki-h.shiga-ec.ed.jp/